

第 14 区

定数 21 名 候補者 21 名

候補者氏名（受付順）

1. 氏名 2. 生年月日 3. 主たる勤務地 4. 経歴 5. 抱負 6. 現職/新任/再任

1. 奥田 勝裕 2. 1974/7/18
3. 名古屋市立大学大学院医学研究科 病態外科学講座 呼吸器・小児外科学分野
4. 2000年に名古屋市立大学医学部卒業、2022年9月より現職の名古屋市立大学大学院医学研究科呼吸器・小児外科学分野の主任教授となり現在に至る。
5. 呼吸器外科ならびに内視鏡外科の発展に尽力しています。微力ではありますが、日本外科学会代議員として外科学会の発展に貢献したいと考えています。
6. 新任

1. 須田 康一 2. 1975/12/19
3. 藤田医科大学 総合消化器外科
4. 2000年 慶應義塾大学医学部卒業
2010年 藤田保健衛生大学上部消化管外科 助教
2016年 慶應義塾大学医学部腫瘍センター 講師
2018年 藤田医科大学総合消化器外科 准教授
2021年 同 主任教授
5. 上部消化管領域ロボット支援手術の手技標準化や保険収載、診療報酬増点、手術手技研修施設の開設と運営、国産手術支援ロボット開発等に携わった経験を活かし、外科学の発展と後進育成に全力を尽くす所存です。
6. 現職

1. 堀口 明彦 2. 1960/3/15
3. 藤田医科大学ばんだね病院外科
4. 1984年藤田保健衛生大学医学部卒業、2013年同大学総合外科・膵臓外科学教授、2015年同大学病院副院長、2016年藤田医科大学医学部消化器外科学講座主任教授、2020年 藤田医科大学ばんだね病院長
5. 肝胆膵外科を中心に臨床・研究に研鑽しています。また、若手医師教育において外科学の素晴らしさ、アカデミアの重要性を伝えていきます。日本外科学会のますますの発展のため全力を尽くさせていただきます。
6. 現職

1. 小寺 泰弘 2. 1959/12/30
3.
4. 昭和60年名古屋大学医学部卒業
平成6年より愛知県がんセンター消化器外科医長
平成14年より名古屋大学大学院医学系研究科消化器外科学講座
平成23年より同講座教授
平成31年より名古屋大学医学部附属病院院長兼務
5. 外科診療の持続可能性が危ぶまれる状況の中、打開策を見つけるべく第124回定期学術集会を開催いたします。会員に資する議論が行われるよう鋭意準備を進め、得られた知見をフィードバックできるよう尽力します。
6. 現職

1. 松山 克彦 2. 1965/11/8
3. 愛知医科大学 心臓外科
4. 名古屋大学、中部労災病院、県立多治見病院を経て東京医科大学を5年間、心臓血管外科医として研鑽し、現在に至る。
5. 日本外科学会における心臓血管外科分野の占める割合は少ない。若手を育てるという意味でも心臓血管外科分野のアピールをしていきたい。
6. 新任

1. 高木 靖 2. 1959/11/6
3. 藤田医科大学 心臓血管外科
4. 昭和60年 名古屋大学医学部医学科 卒業
平成14年 愛知県厚生連加茂病院 心臓血管外科部長
平成18年 藤田保健衛生大学 心臓血管外科 准教授
平成25年 藤田保健衛生(藤田医科)大学 心臓血管外科 教授
5. 心臓血管外科での知識と経験を生かして、頑張っていきたいと思います。最近では、特定行為研修修了者等へのタスクシフト/シェアに関する仕事も行っておりますので、機会があればお役に立てるかもしれません。
6. 現職

1. 坂野比呂志 2. 1971/9/27
3. 名古屋大学大学院医学系研究科 血管外科学
4. 1996年名古屋大学医学部卒業
2006年名古屋大学大学院医学系研究科血管外科学博士課程修了
2014年名古屋大学大学院血管外科助教
2015年同講師
2022年同教授
5. 血管外科の専門家・責任者としてアカデミックな面も含め、外科医師の育成に努めます。また先進的な外科治療を継続して発展させるべく、環境を整備してまいります。
6. 現職

1. 小林 孝彰 2. 1960/5/5
3. 愛知医科大学
4. 1985年卒、愛知県がんセンター、日赤名古屋第二病院、名古屋大学などを経て、2015年から現職。国際異種移植学会（Past President）、日本移植学会（2025年開催予定）など移植領域で貢献。
5. 移植領域の臨床、研究に従事し、移植学会の理事を務めております。外科学の将来は、多様性を活かした組織のなかで活躍できる若手の双肩にかかっています。微力ながら学会の発展のために尽力いたします所存です。
6. 現職

1. 六鹿 雅登 2. 1969/11/14
3. 名古屋大学附属病院心臓外科
4. 1996年3月 名古屋大学医学部医学科 卒業後、大垣市民病院にて研修、カナダアルバータ大学心臓外科で2年臨床留学
2022年4月 名古屋大学心臓外科准教授
2022年11月 名古屋大学心臓外科教授
5. 代議員として日本外科学会のために、また外科学発展のため貢献していきたいと思っております。若い先生に対しても外科学の魅力を発信していきたいとも考えております。
6. 新任

1. 宇山 一朗 2. 1960/9/16
3. 藤田医科大学
4. 1985年 岐阜大学医学部卒業
1985年 慶應義塾大学外科学入局。
1997年 藤田保健衛生大学外科学講師
2006年 藤田保健衛生大学上部消化管外科学教授
2021年 藤田医科大学ロボット内視鏡手術学教授
5. 日本外科学会の理事であり、臨床研究推進委員長、利益相反委員長、NCD連絡副委員長、遠隔手術実施推進委員として活動しており、今後も、若手外科医の育成、日本医療の推進に尽力していく所存です。
6. 現職

1. 須田 久雄 2. 1959/11/1
3. 名古屋市立大学大学院医学研究科 心臓血管外科学
4. 1985年佐賀医科大学胸部外科入局、同講師、光晴会病院、嬉野医療センター、名古屋市立東部医療センター心臓血管外科部長、副院長を経て、2015年名古屋市立大学心臓血管外科准教授、2020年より主任教授
5. 外科医の働き方改革は最大の課題である。本学会の将来を担う若手外科医の効率的な教育は、その解決策の柱の一つと期待される。働き方改革と外科修練システムの構築に尽力することで、外科学会の発展に寄与したい。
6. 現職

1. 喜島 祐子 2. 1968/5/12
3. 藤田医科大学医学部乳腺外科学講座
4. 1993年3月鹿児島大学医学部卒業
1993年5月同第一外科入局
2001年3月同大学院医学研究科卒業 学位取得
2018年8月藤田保健衛生大学 臨床教授
2020年4月藤田医科大学 乳腺外科学講座 教授
5. 私は出身校である大学の外科学講座で、子育てをしながら一般外科、乳腺外科を学んで参りました。大学という活動の場で女性を含め、将来の外科医を目指す若手医師の教育・育成に貢献したいと考えております。
6. 新任

1. 田中 千恵 2. 1973/3/24
3. 名古屋大学医学部附属病院 消化器外科二
4. 1998年昭和病院研修医, 名鉄病院/市立四日市病院外科を経て2010年名古屋大学で学位取得 2011年同附属病院助教 2018年病院講師 2022年病院准教授 日本消化器外科学会理事, 日本胃癌学会代議員など
5. 外科医のキャリアパスを考えつつ質の高い医療を提供できるように貢献したいと考えています。若輩者ですがDiversity/inclusionを意識しつつ会員の皆様のお役に立てるよう精進していく所存です。
6. 新任

1. 遠山 竜也 2. 1964/1/19
3. 名古屋市立大学大学院医学研究科 乳腺外科学分野
4. 1989年名古屋市立大学医学部卒業。1996～99年カナダ・カルガリー大学医学部に留学。2003～05年愛知県がんセンター乳腺科医長。2016年に名古屋市立大学乳腺外科学教授に就任。現在に至る。
5. 日本乳癌学会乳癌診療ガイドライン薬物療法小委員長を7年間務め、同ガイドライン2018年・2022年版の作成に尽力した。この経験を生かして、日本外科学会においては乳癌診療の均てん化に努めたい。
6. 新任

1. 瀧口 修司 2. 1967/3/1
3. 名古屋市立大学消化器外科
4. H5.1 大阪大学第二外科入局→NTT西日本大阪病院勤務
H17.4 大阪大学消化器外科助教
H23.4 大阪大学消化器外科講師
H27.3 大阪大学消化器外科准教授
H29.4 名古屋市立大学消化器外科教授
5. 2024年働き方改革等が本格化し外科志望者減少の中、今後は業務の効率化の追求を余儀なくされると思われます。外科の魅力を若手に伝え、希望を持って外科医が仕事に専念できるよう、様々な努力をしていきたい。
6. 現職

1. 内田 広夫 2. 1964/2/11
3. 名古屋大学大学院 小児外科学
4. 1989年 東京大学医学部医学科卒業
1998年－2001年 東京大学大学院
2001年 獨協医科大学越谷病院 小児外科
2003年 埼玉県立小児医療センター
2013年 名古屋大学大学院 小児外科学 教授
5. 多くの若手医師が外科医を目指したくなるような魅力的な外科を作り上げ、全ての外科医が安全で、確実な手技、知識を身につけられるような環境、教育体制を構築していきたい。
6. 現職

1. 江畑 智希 2. 1966/1/5
3. 名古屋大学医学部附属病院 消化器・腫瘍外科
4. 1990年名古屋大学卒業、第一外科入局。2002年同大学院修了、静岡がんセンター肝胆膵外科、2003年名古屋大学腫瘍外科助手、2009年同講師、2011年同准教授、2020年同教授。
5. 消化器（肝胆膵）外科医として診療、研究、教育を行い、地域外科医の増加・育成に取り組んでいます。また現在、専門医認定/予備試験委員会の担当理事をしています。今後の学会の発展に努力いたします。
6. 現職

1. 芳川 豊史 2. 1971/10/2
3. 名古屋大学医学部附属病院 呼吸器外科
4. 1997年京都大学医学部を卒業。1998年京都大学胸部疾患研究所外科、2004年京都大学大学院医学研究科進学（2006年医学博士取得）、2019年名古屋大学呼吸器外科教授に着任。
5. 専門は、肺癌の外科治療、縦隔腫瘍や胸膜中皮腫の集学的治療、肺移植。呼吸器外科学会理事、肺癌学会理事、石綿中皮腫学会理事。移植学会幹事の立場で、呼吸器外科学を中心に外科学の発展に貢献したいと存じます。
6. 現職

1. 佐藤 陽子 2. 1969/7/5
3. 名古屋市立大学医学部附属西部医療センター
4. 1994年名古屋市立大学第2外科学入局, 同大学腫瘍・免疫外科助手, 病院講師, 2011年より名古屋市立西部医療センター小児外科部長を経て, 2021年より名古屋市立大学呼吸器・小児外科教授(診療担当).
5. ワークライフバランスをとりながら働き続けられる体制の構築は, 女性のみならず男性外科医師にとって重要な課題である. この課題の環境整備やシステム構築に尽力することで, 微力ながら外科学会の発展に寄与したい.
6. 新任

1. 佐野 力 2. 1960/6/16
3. 愛知医科大学 消化器外科
4. 昭和61年名古屋市立大学卒業. 平成10年名古屋大学第一外科助手, 平成13年国立がんセンター中央病院医長, 平成18年愛知県がんセンター医長, 平成26年愛知医科大学消化器外科教授. 消化器肝胆膵外科が専門.
5. 大学病院における卒前・卒後教育の充実を図り, 性別にかかわらず外科医の増加を目指します. 喫緊の課題である働き方改革の問題を解決するため, 学会員の皆様と協力し, 少しでも日本外科学会の発展に尽くす所存です.
6. 現職

1. 増田 慎三 2. 1969/3/13
3. 名古屋大学医学部附属病院
4. 1993年大阪大学医学部卒業. 2021年医学博士. 2001年-市立堺病院, 2003年-国立病院機構大阪医療センター. 2021年-名古屋大学大学院医学系研究科 乳腺・内分泌外科学 教授, 現在に至る.
5. 医学部・大学院教育を通して, 未来の癌治療外科専門医の育成, 地域医療連携にも注力すると同時に, 専門の乳腺外科腫瘍学を中心に, 診療の向上と均霑化, 臨床研究の活性化などを通して本学会の発展に尽力する所存です
6. 新任